

ニホンウナギ



区分	環境省レッドリスト:絶滅危惧 I B 類 宮崎県版レッドリスト:絶滅危惧 I B 類
分布	日本全国に分布するが、新潟県、宮城県以北には少ない。 ⁽¹⁾
生態	河川の中・下流域や河口域、湖にいるが、時には川の上流域、内湾などにも生息する。繁殖期は 4～12 月で、河川への遡上は 10～6 月である。日中は石垣・土手の穴、底の泥の中などにひそみ、夜間は摂餌活動を開始する。 ⁽¹⁾
配慮事項	河川の中・下流域や河口域、湖にいるが、時には川の上流域、内湾などにも生息する。繁殖期は 4～12 月で、河川への遡上は 10～6 月である。日中は石垣・土手の穴、底の泥の中などにひそみ、夜間は摂餌活動を開始する。 ⁽¹⁾

(1) 川の生物図典、財団法人 リバーフロント整備センター、1996

カワアナゴ



区分	宮崎県版レッドリスト: 準絶滅危惧
分布	茨城県以南の本州太平洋側、四国、九州、屋久島に分布する。 ⁽¹⁾
生態	河川の汽水域から下流域にかけて生息し、砂底や礫底を好む。昼間は岩陰などに潜み、夜に底生の小動物や小魚を捕食する。産卵生態は不明。カワアナゴの仲間では、チチブモドキ、オカメハゼも確認されている。
配慮事項	河川改修による河床の悪化、横断工作物(井堰など)による回遊の阻害に対する配慮が必要である。 ⁽²⁾

(1) 山溪カラー名鑑 日本の淡水魚、川那部浩哉・水野信彦、1989

(2) 宮崎県版レッドデータブック 宮崎県の保護上重要な野生生物、宮崎県、2000

チチブモドキ



分布	千葉県以南の太平洋に面した各地と小笠原諸島、琉球列島に分布する。 ⁽¹⁾
生態	主に河川の汽水域から淡水域の下流部で、底質が泥底のところを好むが、時には淡水の影響があると思われる岩礁性のタイドプールにもあらわれ、本属魚類の中で生息域が最も広い。 ⁽¹⁾

(1) 山溪カラー名鑑 日本の淡水魚、川那部浩哉・水野信彦、1989

アシシロハゼ



区分	宮崎県版レッドリスト: 準絶滅危惧
分布	北海道、本州、四国、九州に分布する。 ⁽¹⁾
生態	内湾や汽水域に周年生息している。ほとんど淡水の場所から海水までに生息しており、塩分濃度の変化に対してかなりの順応性がある。河川では汽水域を中心に分布し、あまり上流へは上がらない。砂底または砂泥底にすみ、雑食性で底生動物や藻類を餌としている。産卵期は5~9月と長い。 ⁽¹⁾

(1) 山溪カラー名鑑 日本の淡水魚、川那部浩哉・水野信彦、1989

ヒナハゼ



分布	静岡県以西の本州、四国、九州、琉球列島に分布する。 ⁽¹⁾
生態	川の下流域や汽水域に生息しているが、あまり多くはない。流れの少ない砂底や砂礫底、または水生植物の茂みや沈木の陰などにすむ。産卵期は、琉球列島では5～7月、四国西南部では7～9月である。貝殻や底の平らな石の裏面に卵を1層に産みつける。 ⁽¹⁾

(1) 山溪カラー名鑑 日本の淡水魚、川那部浩哉・水野信彦、1989